

省エネといえば、 まずは節電。 節電をするには、 より豊富な知識を。

東日本大震災のために電力の供給が落ち込んでいます。資源エネルギー庁では、家庭での、夏（7～9月）の平日の午前9時～午後8時における使用電力を15%減らすことを目指して、節電に取り組むようお願いをしています。使用電力を減らすには節電です。まずは電気製品の使い方を見直して、節電を考えてみましょう。

節電はいつすれば？

特に7～9月の平日は冷房需要が増え、1日の中では午後2時頃に家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなります。1日を通じた節電を心掛けつつ、特にピークである午前9時から午後8時までの節電をしましょう。

具体的には？

では、具体的にはどうすれば良いでしょうか。例えば、エアコンの冷房の場合、エアコンは設定した温度に室温を下げるために起動時に多くの電力を消費します。家に帰ってきて、すぐにエアコンのスイッチを入れると高い室温の部屋では冷やすためにそれなりの電力が必要になります。そこでエアコンをつける前には、まず窓を開け、換気扇を使うなど部屋の熱を逃がしてからエアコンを入れると消費電力を抑えることができます。

このようにちょっとしたコツで節電をすることができるのです。そのコツを数例ご紹介します。

未曾有の大災害となった東日本大震災から早くも3カ月がたちました。人々は少しずつ復興に向けて前に進んでいます。

福島第一原子力発電所では、地震と津波の影響により大惨事ともいえる事故が起きましたが、いまだに復旧の兆しは見えていません。この事故は、私たちがエネルギーと今後の地球環境を考えるきっかけとなりました。

九州でも玄海原子力発電所（佐賀県）と川内原子力発電所（鹿児島県）があります。メンテナンス中で停止している原子力発電所を停止したままにすると、夏季のピーク時には、

九州でも電力の供給不足になる可能性があると予想されています。

今まで以上に省エネが叫ばれる中で、私たちにできることは何かあるのでしょうか。

やはり、私たちにできることは、早急に省エネに、節電に取り組むことではないでしょうか。一人でも多くの人が、小さいことから少しずつ取り組んでいくことが大きな力につながっていくのだと思います。

今回は、役場の省エネ対策や身近にできる省エネを紹介し、省エネとは、エコライフとは、何かを考えてみます。

準備すること すぐ始められること

省エネ家電に買い替えを

最新型の電気製品は消費電力が少なく、買い替えると大きな節電効果があります。統一省エネラベルを参考に省エネ家電を購入しましょう（ただし、お使いの電気製品をより大型のものに替えると消費電力が増えることでもありますのでご注意ください）。



この商品の省エネ性能は？

省エネ性能 148% 340%

省エネ性能 7,480円

電球をLED電球に

白熱電球1個（60形の場合：54W）は、最新式の32型液晶テレビとほぼ同じ電力を消費します。白熱電球を電球形蛍光灯ランプ（12W）に交換することで42Wの節電にLED電球（8W）なら約46Wの節電が見込めます。



冷房は 28℃を目安に

年間 **30.24kwh** の省エネ

外気温度 31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合（使用時間：9 時間 / 日）



エアコン

フィルターを月 1 回清掃

年間 **31.95kwh** の省エネ

フィルターが目詰まりしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合の比較です。フィルターの掃除は小まめに。

テレビを見ないときは消す

年間 **15.00kwh** の省エネ（液晶テレビ）

1日1時間テレビを見る時間を減らした場合 15kWh の節電になります。ブラウン管テレビなら約 32kWh の節約になります。

テレビ



詰め込み過ぎず、無駄な開閉はしない

年間 **54.24kwh** の省エネ

詰め込んだ場合と半分にした場合、開閉を 2 倍にしたときの比較です。冷やすには多くの電力を使い、ドアを開閉するとまた冷やさなければいけません。

冷蔵庫



エコライフ イズ ビューティフル

ECOLIFE is BEAUTIFUL